第2次健康くまもと21基本計画

1 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底

取り組み項目	(1)	がん								
			基	準値	実績値	目標値				
	1	75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少		122	R2	R5				
		(10万人当たり)	79.8		68.3	70.0				
			基準値		実績値	目標値				
		がん検診受診率の向上 (市が実施するがん検診の他、職場検診、人間ドック等を含む)	H23		R5	R5				
上 指標項目	2		肺	19.9%	24.9%	40%				
74 11/1 24			胃	28.7%	35.3%	40%				
			大腸	27.9%	30.1%	40%				
			乳	46.3%	55.7%	50%				
			子宮頸	37.3%	58.8%	50%				
取り組み施策		概 要								
施策1 発症予防	禁煙やバランスのとれた食事等がんに対する正しい知識の普及等を行い、がんの発症を予防する。									
施策2 早期発見		がん検診について、市民にわかりやすい情報提供や、企業や団体等と連携した啓発等をすすめることにより、がん検 診の受診率向上を図る。								
施策3 情報発信・相談支援	がん	がんサロンの支援やがんの治療、在宅医療に関する情報提供等を行い、患者や家族を支援する。								

1. 令和5年度の行政における主な取り組み状況等

1. 令和	5年度の行政における主な取り組み状況等
	具体的な内容等
施策1	ホームページにて「がんを防ぐための新12か条」を周知した。
	すこやかくまもと栄養セミナー(食生活改善推進員養成講座)にて、がん発症を予防するための生活習慣を啓発した。
	5がん検診の実施及び胃がんリスク検査を実施した。
施策2	がん検診対象者へ個別受診勧奨はがきを送付した。 ・乳がん(41歳)、子宮頸がん(21歳)検診無料クーポン券及び検診手帳の送付 ・退職者世代(62,66,68,70歳)へがん検診のお知らせを送付 ・胃がんリスク検査対象者の一部の対象者(41・45・49歳)へお知らせを送付 ・節目年齢の方(40・50・60歳)へ大腸がん郵送検診のお知らせを送付 ・乳がん(40~60代)、子宮頸がん(20~30代)ハイリスク世代の方へ受診勧奨はがきを送付 ・乳がん(40~50代)、子宮頸がん(20~30代)ハイリスク世代の方へ再受診勧奨はがきを送付
	市政だよりやSNS、ラジオ等によりがん検診の受診を啓発した。
	がん対策企業等連携協定締結企業と連携し、がん検診パンフレット及び啓発カードを配布した。
	幼児健診の中で、保護者を対象にがん検診のリーフレットを配布し、啓発を実施した。
	民児協会議、校区社協長会議、自治協会議、健康まちづくり推進員会、子育てネットワーク会議、子育てサークル、高齢者サロン、すこやか栄養セミナー等においてがんに関する知識の普及やがん検診受診を啓発した。
	がん相談ホットラインを設置し専門相談員による相談・情報提供のほか、働き&子育て世代のためのがんサロンの定期開催や市民講演 会等を開催し、がん患者とその家族、関係者へ相談支援・情報提供を行った。
他束3	年間を通して市ホームページや市政だより、LINE等を活用し、がん相談支援センターやがん相談ホットライン、緩和ケア、就労支援等の情報提供を行った。
	熊本県がん診療連携協議会の部会やがんサロンネットワークくまもと理事会等に参加し、相互に情報共有し、がんに関する市民や関係者への情報発信を行った。

2. 令和5年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等

各歯科診療所における軟組織審査の継続【熊本市歯科医師会】

事業場の産業保健スタッフ等を対象とした、生活習慣病の予防、禁煙の健康影響に関する研修会を実施。【熊本産業保健総合支援セン ター】

施策1

[・]まちの保健室」の活動で、高血圧、糖尿病、心疾患、肥満、喫煙習慣などの生活習慣病予防について情報提供を行い、がん検診受診 勧奨を行った。(3か所)【熊本県看護協会】

熊本県総合保健センター主催の「結核・ガン予防キャンペーンヘルシーくまもと」に健康を守る婦人の会で参加。【熊本県歯科衛生士会】

加入者本人を対象に、特定健診にがん検診項目を加えた「生活習慣病予防健診」を実施。同健診には、胃・肺・大腸のがん検診項目が 含まれており、令和5年度の総受診者数は173,388件。また、乳・子宮頸がん検診を実施しており、令和5年度総受診者数は40,017件。 【全国健康保険協会熊本支部】

口腔外科疾患に関する歯科医師向けセミナーの開催【熊本市歯科医師会】

労働者数50名未満の事業場を対象に定期健康診断の有所見者に対する医師の面接指導や保健指導等を実施している。【熊本産業保 健総合支援センター】

協議会員定例会時、罹患者の体験談を話してもらい検診の重要性を説明【東区健康まちづくり推進員協議会】

熊本市の委託事業として胃、肺、大腸、子宮頸部、乳房の各種がん検診及び胃がんリスク検査(血清ピロリ抗体検査)を実施した。【熊本 市医師会】

施策2

受診機会の喪失を防ぐべく、前年度の受診者に対し、受診勧奨ハガキを送付した。【熊本市医師会】

精検未受診者に対し、精検勧奨ハガキを必要に応じて数回送付し、精検受診率の向上に努めた。【熊本市医師会】

検診ごとに専門医で構成した委員会を設置し、年に1~2回会議を開催し、検診結果等について協議検討を行い、がん検診受診率の向 上および精度管理の向上に努めた。【熊本市医師会】

胃がん内視鏡検診において、精度管理研修会を開催し、検診結果の分析・検査方法の提示・画像評価・症例検討等を行い、精度管理の 向上に努めた。【熊本市医師会】

「まちの保健室」の活動で、高血圧、糖尿病、心疾患、肥満、喫煙習慣などの生活習慣病予防について情報提供を行い、がん検診受診 勧奨を行った。(3か所)【熊本県看護協会】

がん等の病気になっても治療しながら働き続けることができる環境を支援する「治療と仕事の両立支援」の啓発・支援や、がんに関する 様々な情報をホームページやメールマガジンにて情報発信している。【熊本産業保健総合支援センター】

施策3

訪問看護師を対象とした研修会「ACP〜意思決定を支えるケアを考える〜」(R5.12.2 参加者19名)を通し、在宅療養を行う患者や 家族を支援した【熊本県看護協会】

看護職を対象に、「がん看護の充実~がん薬物療法・放射線療法~」に関する研修会を開催し、患者や家族を支援した(R5.9.13 参加 者47名)【熊本県看護協会】

		よる質出) 24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
肺がん	対象者数	406,159	411,324	416,188	420,702	418,206	426,774	429,748	432,496	435,170	437,184	438,822	440,916
	受診者数	22,861	22,579	22,443	22,679	20,000	21,233	21,142	20,748	17,071	19,015	20,712	26,732
	肺がん受診率	5.6%	5.5%	5.4%	5.4%	4.8%	5.0%	4.9%	4.8%	3.9%	4.3%	4.7%	6.12
	対象者数	406,159	411,324	416,188	420,702	418,206	426,774	429,748	432,496	435,170	437,184	438,822	440,916
胃がん	受診者数	10,556	10,107	9,904	9,477	8,658	8,952	8,930	10,596	9,972	11,205	11,607	11,914
	胃がん受診率	2.6%	2.5%	2.4%	2.3%	3.2%	3.0%	2.9%	3.4%	3.8%	4.0%	4.3%	4.53
大腸がん	対象者数	406,159	411,324	416,188	420,702	418,206	426,774	429,748	432,496	435,170	437,184	438,822	440,916
	受診者数	22,670	22,467	22,194	22,512	18,108	19,763	21,817	21,725	19,781	22,436	22,139	23,048
	大腸がん受診率	5.6%	5.5%	5.3%	5.4%	4.3%	4.6%	5.1%	5.0%	4.5%	5.1%	5.0%	5.23
	対象者数	223,671	226,426	228,879	231,220	230,316	233,702	235,310	236,738	238,142	239,202	239,874	240,929
孔かん	受診者数	12,036	11,837	14,183	11,491	9,287	10,199	13,282	14,403	13,137	13,783	13,789	14,946
	乳がん受診率	10.6%	9.9%	10.9%	10.6%	8.3%	8.1%	9.6%	11.4%	11.3%	11.0%	11.3%	11.7%
子宮頸がん	対象者数	316,947	317,693	318,399	318,762	319,447	317,810	318,049	318,096	318,681	318,596	318,783	319,115
	受診者数	19,017	18,678	23,530	16,973	13,095	17,949	20,534	24,275	24,258	27,009	25,747	27,449
	子宮頸がん受診率	12.0%	11.6%	13.0%	12.5%	8.9%	9.7%	12.0%	14.0%	15.2%	16.0%	16.5%	16.6%

※参考(2) 無料クーポン利用率 (R5実績)

		(単位:人)
対象者	利用者	利用率
4,595	806	17.5%
 3,778	265	7.0%

※対象者数は住基人口により算出。

第3次健康くまもと21基本計画

2 生活習慣病の発症予防と重症化予防

取り組み項目	(1);	(1)がん予防等対策								
		the Latter was a state of the late.	基	準値	実績値	目標値				
	15	75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少		R2	R2	R17				
		(10万人当たり) 	126.4		126.4	減少傾向				
				準値	実績値 R5	目標値				
				R5		R17				
指標項目	16	がん検診受診率の向上 (市が実施するがん検診のほか、職場検診、人間ドック等を含む)	肺	24.9%	24.9%	60%				
			胃	35.3%	35.3%	60%				
			大腸	30.1%	30.1%	60%				
			乳	55.7%	55.7%	60%				
			子宮頸	58.8%	58.8%	60%				
取り組み施策		概								
施策1 がん予防	がん	がん検診の受診率向上、ワクチン接種の促進や、がんに対する正しい知識の普及啓発を行う。								
施策2 がん医療・がんと の共生	がん	がんに関する治療法についての情報発信や相談支援に取り組む。								

1. 令和6年度の行政における主な取り組み状況等

具体的な内容等

5がん検診の実施及び胃がんリスク検査を実施した。

がん対策企業等連携協定締結企業と連携し、がん検診パンフレット及び啓発カードを配布した。

- がん検診対象者へ個別受診勧奨はがきを送付した。 ・乳がん(41歳)、子宮頸がん(21歳)検診無料クーポン券及び検診手帳の送付
- ・退職者世代(62, 66, 68, 70歳) へがん検診のお知らせを送付
- ・胃がんリスク検査対象者の一部の対象者(41・45・49歳)へお知らせを送付
- ・節目年齢の方(40・50・60歳)へ大腸がん郵送検診のお知らせを送付
- ・乳がん $(40\sim60$ 代)、子宮頸がん $(20\sim30$ 代)ハイリスク世代の方へ受診勧奨はがきを送付・乳がん $(40\sim50$ 代)、子宮頸がん $(20\sim30$ 代)ハイリスク世代の方へ再受診勧奨はがきを送付

施策1 ・乳がん、子宮頸がん検診無料クーポン券の再勧奨はがき送付(R6年度から開始)

市政だよりやSNS、ラジオ等によりがん検診の受診を啓発した。

ホームページにて「がんを防ぐための新12か条」を周知した。

民児協会議、校区社協長会議、自治協会議、健康まちづくり推進員会、子育てネットワーク会議、子育てサークル、高齢者サロン、すこ やか栄養セミナー等においてがんに関する知識の普及やがん検診受診を啓発した。

幼児健診の中で、保護者を対象にがん検診のリーフレットを配布し、啓発を実施した。

すこやかくまもと栄養セミナー(食生活改善推進員養成講座)にて、がん発症を予防するための生活習慣を啓発した。

令和6年度より「アピアランスケア推進事業」を開始し、医療用ウィッグ等の購入費の助成だけでなく、がん相談窓口やがんの情報提供を 行い、がん患者の心理的及び経済的負担の軽減、がんとの共生が図られるよう支援する。

専門相談員によるがん相談ホットラインの実施、働き&子育て世代のためのがんサロンの定期開催、市民講演会の実施により、がん患 者とその家族への相談支援、療養に必要な情報提供を丁寧に行う。

市政だよりや市ホームページの広報の他、市医師会の広報誌への記事掲載、包括連携協定企業やがん対策企業等連携協定締結企 業等への情報提供を行い、年間を通してがんに関する啓発を行う。

熊本県がん診療連携協議会の部会やがんサロンネットワークくまもと理事会等に参加し、相互に情報共有し、がんに関する市民や関係 者への情報発信を行った

2. 令和6年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等

各歯科診療所における軟組織審査の継続【熊本市歯科医師会】

口腔外科疾患に関する歯科医師向けセミナーの開催【熊本市歯科医師会】

節目年齢歯科検診における対応【熊本市歯科医師会】

口腔癌の啓発と、歯科医院における早期発見への取り組み【熊本市歯科医師会】

事業場の産業保健スタッフ等を対象とした、生活習慣病の予防、禁煙の健康影響に関する研修会を実施。【熊本産業保健総合支援センター】

健康に関するイベントや高齢者サロン、通いの場等においてがん検診の重要性をパネルを使い啓発する。【東区健康まちづくり推進員 協議会】

熊本市の委託事業として胃、肺、大腸、子宮頸部、乳房の各種がん検診及び胃がんリスク検査(血清ピロリ抗体検査)を実施した。【熊本 市医師会】

受診機会の喪失を防ぐべく、前年度の受診者に対し、受診勧奨ハガキを送付した。【熊本市医師会】

施策1 精検未受診者に対し、精検勧奨ハガキを必要に応じて数回送付し、精検受診率の向上に努めた。【熊本市医師会】

検診ごとに専門医で構成した委員会を設置し、年に1~2回会議を開催し、検診結果等について協議検討を行い、がん検診受診率の向上および精度管理の向上に努めた。【熊本市医師会】

胃がん内視鏡検診において、精度管理研修会を開催し、検診結果の分析・検査方法の提示・画像評価・症例検討等を行い、精度管理の向上に努めた。【熊本市医師会】

熊本市と協力して、幅広い年齢層の受診者を対象にわかりやすいがん啓発情報を発信を行いたい。【熊本市医師会】

受診機会の喪失を防ぐべく、より効果的な受診勧奨を実施し、受診率向上を目指します。【熊本市医師会】

「まちの保健室」の活動で、高血圧、糖尿病、心疾患、肥満、喫煙習慣などの生活習慣病予防について情報提供を行い、がん検診受診 勧奨を行った。(3か所)【熊本県看護協会】

熊本県総合保健センター主催の「結核・ガン予防キャンペーンヘルシーくまもと」に健康を守る婦人の会で参加。【熊本県歯科衛生士 会】

加入者本人を対象に、特定健診にがん検診項目を加えた「生活習慣病予防健診」を実施する。 その他、加入者本人を対象に乳・子宮頸がん検診を実施する。【全国健康保険協会熊本支部】

労働者数50名未満の事業場を対象に定期健康診断の有所見者に対する医師の面接指導や保健指導等を実施している。【熊本産業 保健総合支援センター】

施策2 協議会員定例会時、罹患者の体験談を話してもらい検診の重要性を説明【東区健康まちづくり推進員協議会】

看護職を対象に、「がん看護の充実〜がん薬物療法・放射線療法〜」に関する研修会を開催し、患者や家族を支援した(R5.9.13 参加 者47名)【熊本県看護協会】